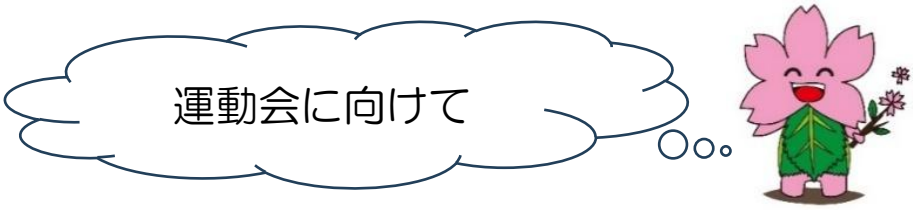
みんなで一歩
～チャレンジ・つながり～

令和８年(２０２６年)１０月５日
豊中市立桜井谷小学校
学校だより　No.１１
校長　渡部　潤也



10 月の全校朝会では、次のような話をしました。

運動会が近づいてきました。今日は、運動会と関連して**「チャレンジ」と「つながり」** について考えたいと思います。

運動会でチャレンジというと、「1 位になること」や「上手にできること」だと思う人もいるかもしれません。でも、本当のチャレンジはそれだけではありません。苦手なことに挑戦すること。去年より少しでも成長しようとすること。最後まであきらめずにねばり強くやりきろうとすること。それがチャレンジです。

運動会の練習の中で、ダンスがなかなか覚えられないけどがんばって覚えようとしている人、走ることに自信はないけど少しでも速く走ろうとしている人、また大きな声で応援しようとしている人がいます。そんな一人一人のチャレンジが、とてもすばらしいのです。

そして、もう一つ大切なのが「つながり」です。

運動会は一人ではできません。リレーではバトンをつなぎます。団体競技では仲間と力を合わせます。応援では友達の頑張りをみんなで後押しします。

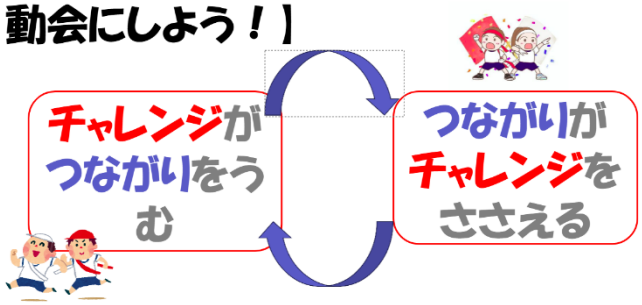
みなさんのチャレンジは、自分だけのためではありません。

一生懸命頑張る姿を見ると、「自分も頑張ろう。」 と思う人がいます。

うまくいかない友達に 「大丈夫。」と声をかける人がいます。その一つ一つが人と人とのつながりをつくります。

一人一人がチャレンジする姿。それがつながりを生みます。つながりが生まれるとさらにチャレンジしていきたいという気持ちが強まっていきます。そして、そのチャレンジを仲間が支え、認め合い、応援する姿を先生やおうちの人たちは見たいと思っています。

「チャレンジとつながりで最高の運動会にしよう！」



みなさん一人一人のチャレンジが、クラスの力になり、学年の力になり、そして学校全体の力になります。「チャレンジがつながりを生み、つながりがさらなるチャレンジを支える」のです。

運動会当日、**「チャレンジしてよかった」「みんなとつながれてよかった」**そう思える最高の運動会にしていきましょう。

ご家庭でも、「チャレンジ」や「つながり」についてぜひお話してみてください。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

＜５年生でビブリオバトルに取り組みました。＞



ビブリオバトルとは、「人を通して本を知り、本を通して人を知る」ことを目的とした、本の紹介コミュニケーションゲームです。発表者は自分のお気に入りの本の魅力を紹介し、聞き手は発表を聞いて質問や感想を伝えます。そして最後に、「一番読んでみたくなった本」に投票し、チャンプ本を決定します。

子どもたちは本の内容だけでなく、自分の考えや感じたことを相手にわかりやすく伝えようと工夫していました。また、友達の発表に耳を傾け、多様な本や考え方に触れる貴重な機会となりました。読書への関心を高めるとともに、伝える力や聞く力を育む学びにつながっています。

５年生では、読書への関心を高めるとともに、伝える力や聞く力を育むことを目的にビブリオバトルを実施しました。まず各クラスで 6～7 人のグループに分かれ、おすすめの本の魅力を紹介し合いました。その後、各グループで「一番読んでみたくなった本」を選び、グループ代表を決定しました。

次に、各グループ代表６名がクラス全員の前で発表を行い、その中からクラス代表２名を選出しました。さらに学年のチャンプ本を決めるため、学年全員が多目的室に集まり、６名（各クラスの代表２名×３）による発表を聞きました。子どもたちは友達の紹介に熱心に耳を傾け、「読んでみたい」と思った本に投票しました。



本を通して多様な考えや興味に触れるとともに、自分の思いを伝え合う貴重な学びの機会となりました。

今回チャンプ本となったのは、「謎の香りはパン屋から」という本です。

豊中市にあるパン屋「ノスティモ」を舞台に、漫画家を目指す女子大生が、身の回りで起こる「日常の謎」を解き明かしていく連作ミステリー短編集です。最近、続編「なぞの香りはパン屋から２」も出版されました。興味のある方は、ぜひこの本を手に取って読んでみてください。